

大学による「国際協力」の形態

1. 留学生・研究生の受入

2. 集団研修
(受託、講師)

3. 技術協力
プロジェクト
(直営型、契約型(一括受託、共同事業体、補強))

4. 地球規模課題
対応国際科学
技術協力事業
(SATREPS)

5. 草の根技術
協力事業
(パートナー型、支援型、
地域提案型)

6. その他(調査
研究等)



農学知的支援ネットワーク

Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences (JISNAS)

緒方一夫

九州大学熱帯農学研究センター

JISNAS 事務局

名古屋大学農学国際教育研究センター

(jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp)

(<http://jisnas.com/en/outline/organization.html>)

JISNASについて

設 立:

平成21年(2009年)11月30日

趣 旨:

- 農学分野における教育・研究・社会貢献等に係わる国際協力活動
- 大学間の連携及び大学と我が国の国際農業研究機関との連携
- 関係機関によるネットワーク体制の整備

活 動:

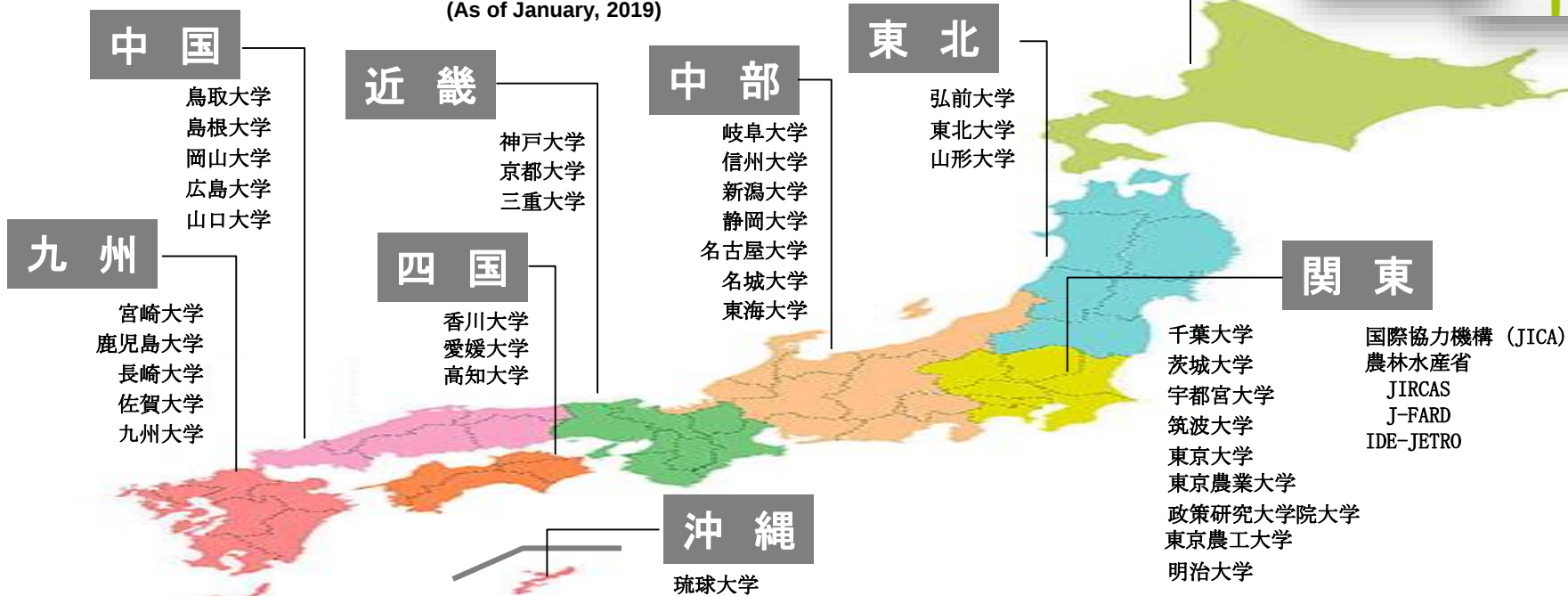
- 国際協力活動実施に必要な業務支援
- 分散した知識・技術(人的資源)のネットワーク化
- 研究者、教員のモチベーションの維持・向上
- ネットワーク活動による受託事業の促進
- 大学関係者及び一般社会の理解促進

メンバーと組織

- ・団体会員
- ・その他の加盟組織
- ・個人会員

51大学・機関等
+ 117 個人会員

(As of January, 2019)



幹事組織

運営委員会

分科会

1. セミナー・シンポ
2. 雑誌
3. 国際協力
4. 国際研究
5. 人材育成

アドバイザー機関

- ・文部科学省
- ・農林水産省

JISNAS事務局

(名古屋大学農学国際教育研究センター)

事務局: 名古屋大学農学国際教育研究センター

ミャンマー国イエジン農業大学(YAU) 能力強化プロジェクト



無償資金協力による実験棟



無償資金協力による実験棟



Royal Cafe
နေဝင်း ကာဖီ



YAU: ネピドー特別市ザヤティリ・タウンシップにあるミャンマー唯一の農学単科大学。農業畜産灌漑省や民間セクターの農業技術者、普及員、研究者を育成。農家や消費者のニーズに応じるため、より広範な知見の蓄積と農業生産現場で普及できる技術開発の研究が必要。YAU教員の実践的指導経験の不足、施設・機材の不足がこれまで大きな制約。2012-2015に無償資金協力により実験棟を建設。

ミャンマー国イエジン農業大学 能力強化プロジェクト

協力期間：2015年11月23日～2020年11月22日

目標：

実践志向型の教育・研究基盤を強化。

活動：

- ・組織運営体制の改善
- ・カリキュラム及び教員の教授能力の向上
- ・教員の研究能力の強化

日本側投入：

長期専門家3名、短期専門家、研修員受入、機
材供与、在外事業強化費

JISNASの役割

国内支援委員会
委員としての協力

専門家派遣
の照会

研修員受入
大学の斡旋



YAUの学科構成

専門学科

アグロノミー
Agronomy

作物育種学
Crop Breeding

土壌学
Soil Science

園芸学
Horticulture

植物病理学
Plant Pathology

昆虫学
Entomology

農業経済学
Agr. Economics

バイオテクノロジー
Biotechnology

食品科学
Food Science

微生物学
Microbiology

農業普及学
Agr. Extension

学部共通教育学科

農業工学
Agr. Engineering

畜産学
Animal Science

基礎学科

国語
Myanmar

英語
English

数学
Math

物理
Physics

化学
Chemistry

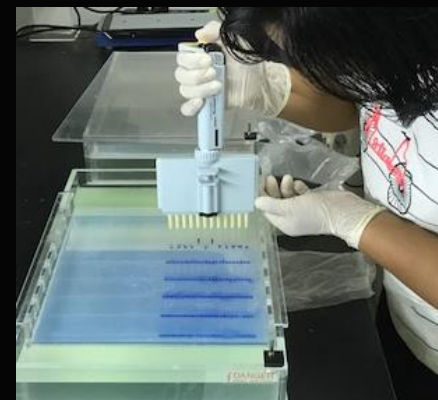
動物学
Zoology

植物学
Botany

JICA-JISNAS Agri-Net 食料安全保障のための農学ネットワーク

□「イネ育種高度化研修」 (2017年3月6日～4月17日)

九州大学, 名古屋大学, ベトナム国立大学
ベトナム、ミャンマー、ケニア(5名)



□「気候変動に対応した栽培技術アップグレード研修」

(2018年2月26日～3月9日)

名古屋大学, 山形大学, 茨城大学, 宮崎大学, 鹿児島大学
ベトナム、ケニア、カンボジア、ラオス、フィリピン、タイ(9名)

□「里海の理念共有による海洋生物資源の有効利用と気候変動対応」

(2018年2月26日～3月9日)

三重大学
ベトナム、ケニア、カンボジア、タイ(4名)



「イネ育種高度化研修」

- ・熱帯アジア、アフリカにおけるイネの遺伝育種研究を推進
- ・調査解析技術を習得(第三国での実習を含む)
- ・研修員各国の課題解決に向けた研究計画案を作成
- ・参加国間でのネットワークを強化



Day 01Day 27Day 29Day 45

日本

ベトナム



遺伝資源学講義

機能解析
ゲノム研究



育種学講義

育種法、
抵抗性育種、
成分育種

遺伝育種技術演習

交配、
マーカー選抜、
QTL解析、
有用遺伝子単離同定の基礎と応用

リサーチプラン作成

各国の研究行政方針に
沿った課題解決型研究
計画の立案



大量交配技術演習

圃場における
交配技術習得



➡ 2名の研修員は九州大学・名古屋大学の博士後期課程に長期研修員として留学

「農学における国際共同研究の現状と将来の展開に関するアンケート」

対 象： 全国農学系学部長会議会員
大学・部局(77)

調査期間： 2018/9/10-10/15

調査方法： Webアンケート

回 答 数： 60件

